

TOSHIBA 空気清浄ユニット

型名 TCB-EAP1601U

取付説明書

取付工事の前に、この「取付説明書」を熟読し、内容を良く理解した上で、正しく使用して下さい。文章中の注意事項で、“絶対”及び“必ず”という表現で注意されている事項は、守らない場合、本体を故障させ使用不能になったり、思わぬ事故や火災の原因となりますので、特に注意してください。



この“取付説明書”は“取扱説明書”と共に、お客様で保管して頂くように依頼してください。

「取付説明書」に記載されている取り付け方法及び安全に関する注意事項は、本品を指定の用途で使用する場合にのみ適用されるものです。




安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。
「△ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や破損の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される。」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される。」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は警告・注意を促す内容であることを告げるものです。
	このような絵表示は禁止（行ってはいけない）内容であることを告げるものです。
	このような絵表示は強制（必ず実行する）内容であることを告げるものです。

項目コード* 5 d「DCファンタッフ* 選択」

設定データ	
0 0 0 0	標準（出荷設定）
0 0 0 3	空気清浄ユニット、空気清浄ユニット+光再生脱臭フィルタ

試運転

吸込みグリルを開めた後、エアコンの運転スイッチを入れてください。

空気清浄ユニットはエアコンの室内ユニットの運転と連動しています。エアコンが運転されていることを確認し、吸込みグリル越しに空気清浄ユニットが運転していることを確認してください。

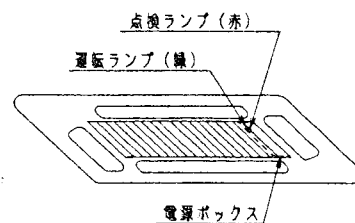
緑色の「運転ランプ」が点灯していれば正常です。

緑色の「運転ランプ」が点灯しない、またはいずれのランプも点灯しないなどの現象の時は、以下のことを参考に再度点検してください。

赤色の「点検ランプ」が点灯している時は、電源ボックスのリセットスイッチを押してください。それでもなお空気清浄ユニットの運転がされないときはお問い合わせの販売店にご連絡してください。

確認事項

- 停電ではありませんか。
- 元電源は入っていますか。
- リモコンのスイッチは確実に入っていますか。
- 漏電遮断機が切れていませんか。
- 美じん電極は確実にセットされていますか。
- 吸込みグリルは確実に閉まっていますか。



⚠ 注意

⊘ 空気清浄ユニットの単独運転はできません。

⊘ エアコンが停止している状態で、空気清浄ユニットのみの運転はできません。

⊘ 吸込みグリルが開いているとエアコンは運転しますが、空気清浄ユニットは運転しませんので必ず閉じてください。

CF5500-8407A-000

⚠ 警告

■ 次のような場所には設置しない。

- 可燃性・導電性粉じん ● 引火性ガス・可燃性ガス
のある場所 がある場所
(炭じん、コークス塵、金屑塵) (アルコール、シンナーなど)
- 絶縁性の高い粉じんのある ● 火気のある場所
場所 ● 油圧が発生する場所
(セメント塵など)

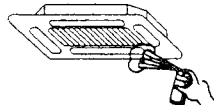


・高電圧を使用していますので、スパーク・ショートなどにより、火災の原因となります。

■ 火気を近づけたり、スプレー等の可燃性物質を吹き付けない。



・火災の原因となります。



■ 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。



・針金等を使用すると故障や火災の原因となります。

■ 本体には水をかけない、水洗いしない。



・高電圧を使用しています。水をかけると感電の恐れがあります。また漏電や火災の原因となります。

■ 高温、高湿度の場所には取り付けない。
(温度40℃以上、湿度85%以上)



・感電、故障の原因となります。

■ 雨水や水などがかかる恐れのある場所には取り付けない。

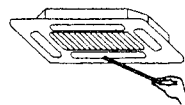


・絶縁が落ちたり、漏電や火災の原因となります。

■ 針金や棒などの異物を挿入しない。



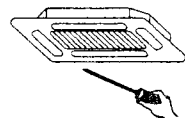
・感電の原因となります。



■ 自分で修理や分解、改造はしない。



・事故や故障の原因となります。



■ 異常時(こげ臭い等)は電源を切り、お買い上げの販売店に連絡する。

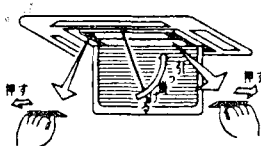


・異常のまま運転を続けると、故障や感電、火災の原因となります。

■ 集じん電極を洗浄したり点検した後は確実に固定する



・固定をしないと集じん電極が落下してけがをする恐れがあります。



■ 廃棄をするときは自分で焼却しない。



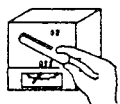
・有毒ガスが発生する原因となります。

■ 長期間使用しないときは元電源を切る。



・絶縁劣化による感電、漏電火災の原因となります。

元電源停止

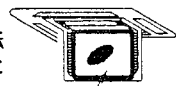


⚠ 注意

■ 天井パネルの吸込みグリルに付いているエアフィルターは必ず取り付けてから運転する。



・取り付けないで運転すると故障の原因となります。 エアフィルター



■ 運転中は電気部品に手を触れない。



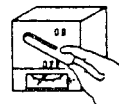
・高電圧を使用しています。感電やけがの原因となります。

■ 電気部品を点検する時は元電源を切ってから行なう。



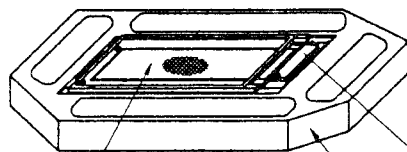
・高電圧を使用しています。感電やけがの原因となります。

元電源停止



梱包物の確認

- 取り付けの前に部品の確認を行ってください。梱包箱には以下のものが入っております。もし欠品がありましたらご使用なさらずお買い上げの販売店までご連絡いただけますようお願いいたします。

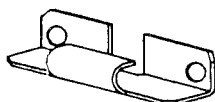


① 電源ボックス

② 集じん電極

③ チャンバー

④ 本体取付金具………2個



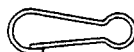
⑧ タッピンネジ(4×10)………8本



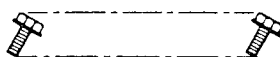
⑤ リミットスイッチ押し板………4個



⑨ パチン錠ゆるみ防止金具………2個



⑥ 十字穴付六角ネジ
(M5×10)………4本



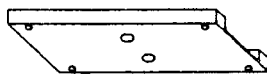
⑩ 閉端接線子………2個



⑦ チャンバー取付ネジ
(M5×40)………2本



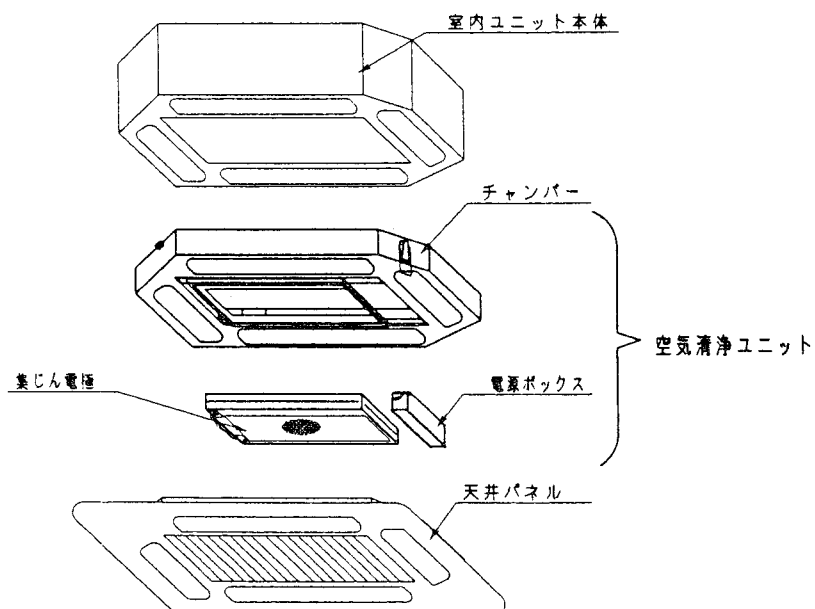
⑪ 保護板(梱包材)………1個



⑫ 取付説明書・取扱説明書
(本書)

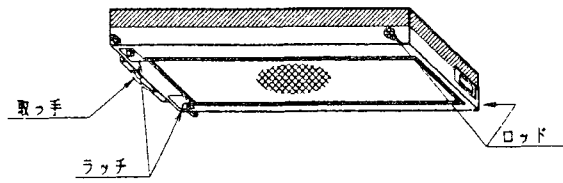
各部の名称

室内ユニット本体との組合わせ

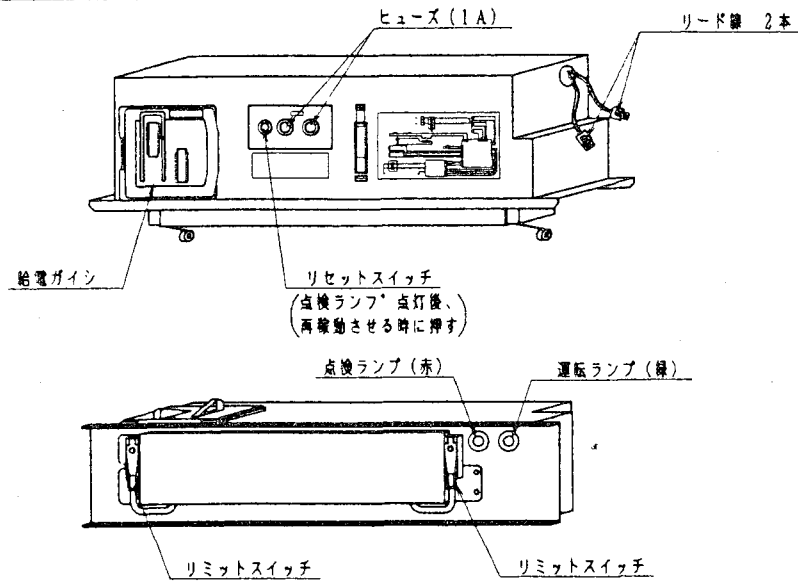


空気清浄ユニット各部詳細

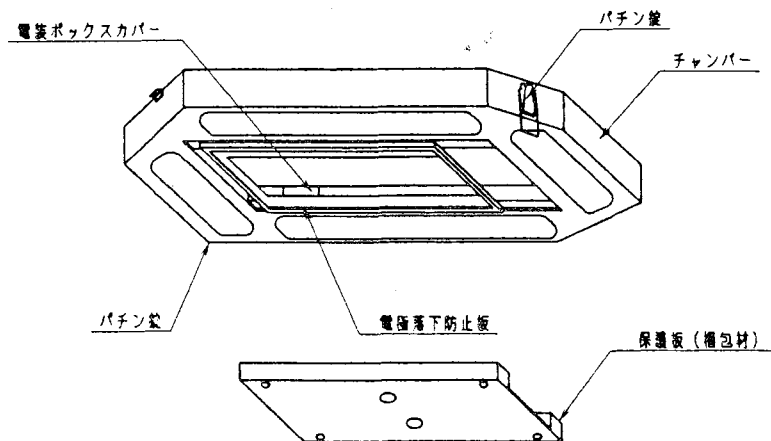
集じん電極



電源ボックス

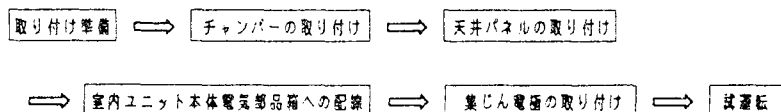


チャンバー

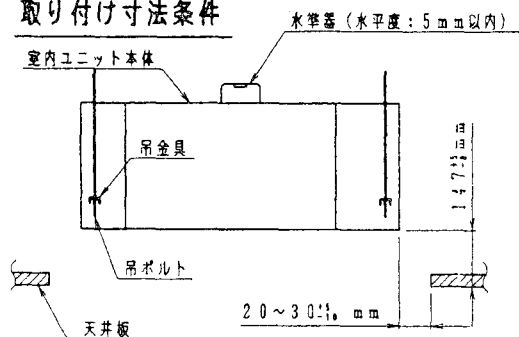


取り付け方法

○取り付けおよび配線作業は以下の順序にて行います。取り付け作業にとりかかる前に本内容をよく読んでから行ってください。



取り付け寸法条件



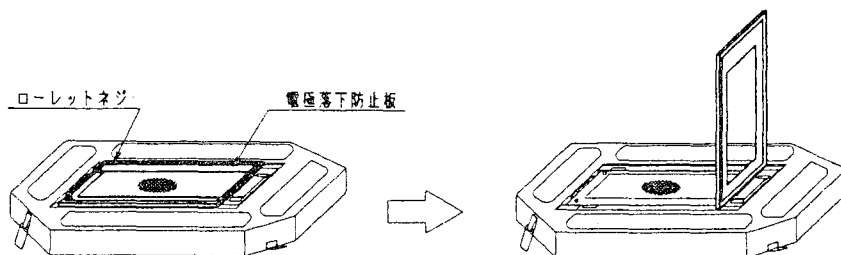
○空気清浄ユニット取り付けにより、135 mm天井高さが増加します。

注意

- ・室内ユニット本体に空気清浄ユニットを取り付ける際には、必ず左図の寸法条件の範囲内にあることを確認してください。この範囲が守れない場合、故障等の原因となります。

1. 取り付け準備

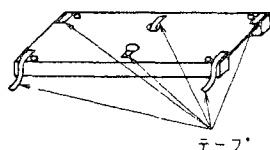
- (1) 保護板(梱包材)を取り外してください。
(この板は、チャンバー取り付け時等に保護用としてご使用ください。)
- (2) 電極落下防止板のローレットネジ2本を外し、電極落下防止板を起してください。



- (3) 集じん電極のラッチを外し、集じん電極を取り外してください。



- (4) (2)と逆の手順で電極落下防止板を取り付け、ローレットネジ2本を締めて下さい。
- (5) (1)と逆の手順で保護板(梱包材)をテープで再度固定してください。



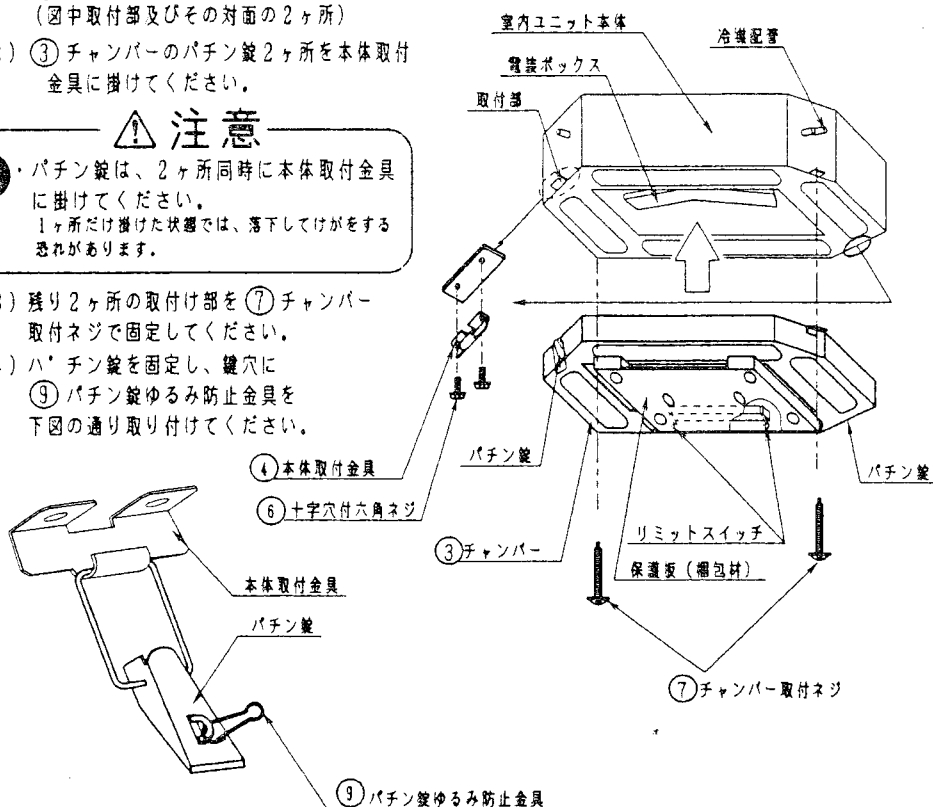
2. チャンバーの取り付け

- (1) ④ 本体取付金具 2 個を室内ユニット本体に
⑥ 十字穴付六角ネジで取り付けてください。
(図中取付部及びその対面の 2ヶ所)
- (2) ③ チャンバーのパチン錠 2ヶ所を本体取付金具に掛けてください。

⚠ 注意

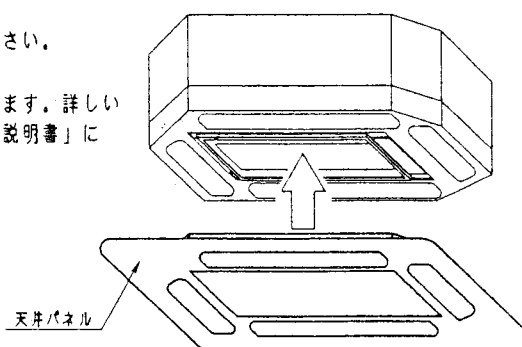
・パチン錠は、2ヶ所同時に本体取付金具に掛けてください。
1ヶ所だけ掛けた状態では、落下してけがをする恐れがあります。

- (3) 残り 2ヶ所の取付部を ⑦ チャンバー取付ネジで固定してください。
- (4) ハ・チン錠を固定し、鍵穴に
⑨ パチン錠ゆるみ防止金具を
下図の通り取り付けてください。

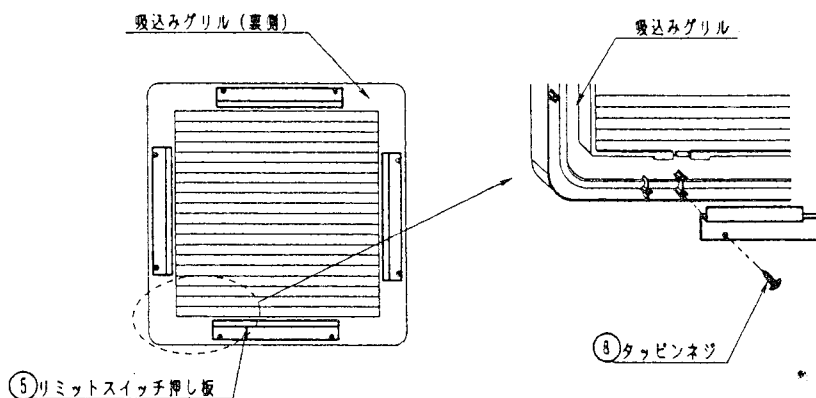


3. 天井パネルの取り付け

- (1) 保護板(梱包材)を取り外してください。
- (2) 天井パネルをチャンバーに取り付けます。詳しい取り付け方法は天井パネルの「取付説明書」によって行ってください。

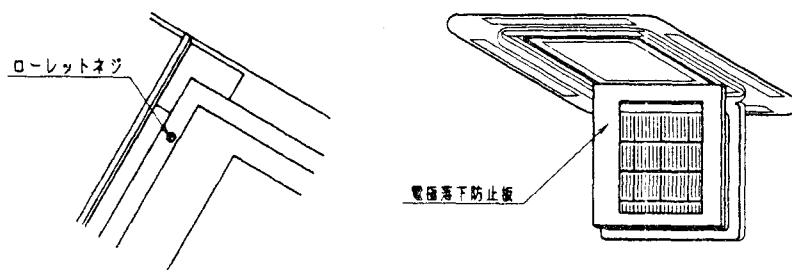


- (3) 吸込みグリル裏面に ⑤ リミットスイッチ押し板を 4 個全て取り付けてください。

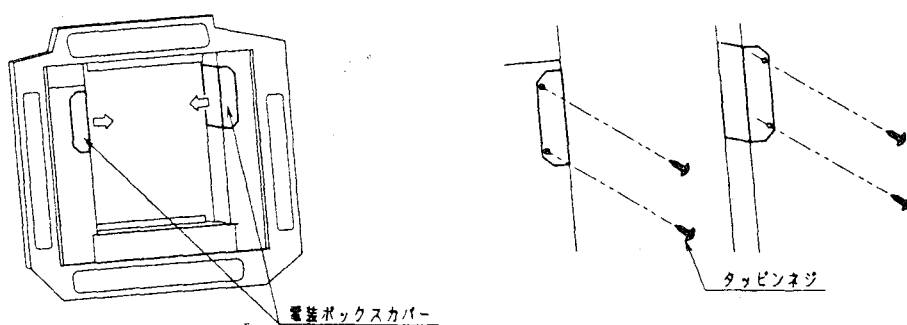


4. 室内ユニット本体電気部品箱への配線

- (1) 電極落下防止板のローレットネジ2本を外し、電極落下防止板を吊り下げてください。

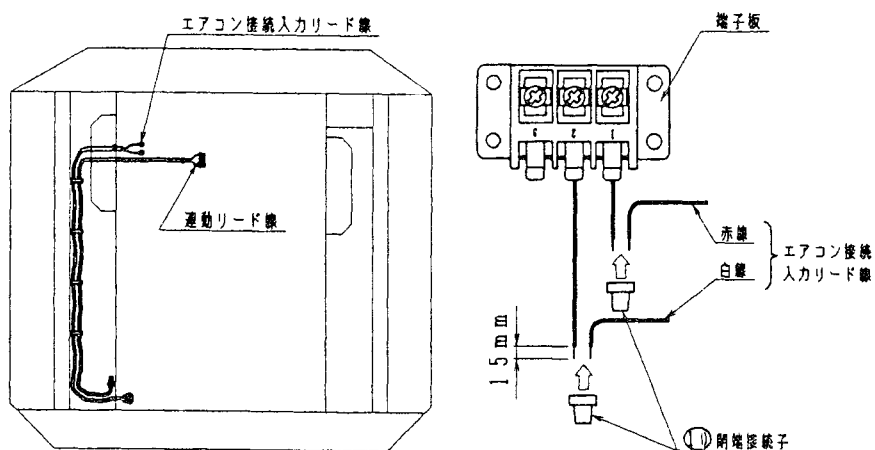


- (2) チャンバーから電装ボックスカバーを取り外してください。

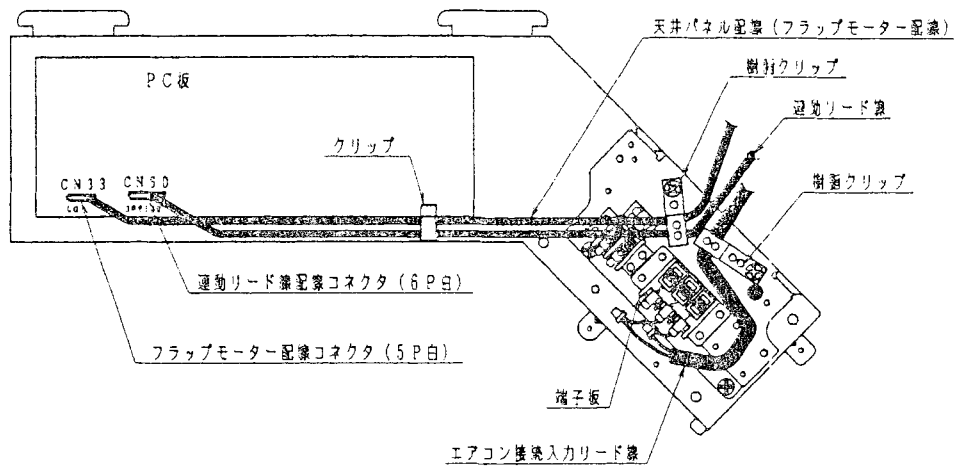


- (3) 室内ユニット本体電気部品箱カバーを開いてください。

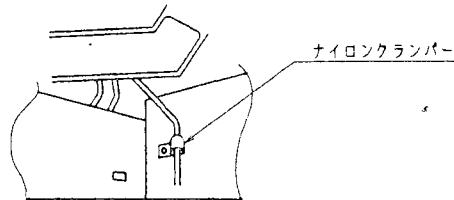
- (4) 室内ユニット本体の電気部品箱の端子板から出ている閉端接続子付きの配線の先端をカットし、空気清浄ユニットについている「エアコン接続入力リード線」の先端の丸端子もカットし、それぞれ被覆を15mmむき、一緒に⑩閉端接続子でカシメてください。



室内ユニット本体電気部品箱



- (5) 空気清浄ユニットについている「運動リード線」の白いコネクタ (6P) を室内ユニット本体電気部品箱PC板の「CN60 (OPTION)」表示のコネクタに接続してください。
- (6) 天井パネルに取り付けられている天井パネル配線コネクタ (5P白) を室内ユニット本体電気部品箱PC板「CN33 (LM)」表示のコネクタに接続し、下図の通りリード線をナイロンランパーで固定してください。



- (7) (3) と逆の手順で室内ユニット本体電気部品箱カバーを開めてください。
- (8) (2) と逆の手順で電装ボックスカバーを取り付けてください。

⚠ 注意



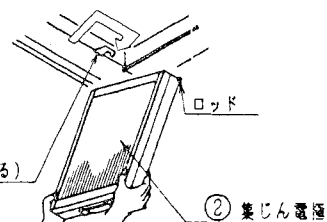
・配線する時は必ず、元電源が切れていることを確認の上行ってください。

高電圧を使用しています。
感電やけがの原因となります。

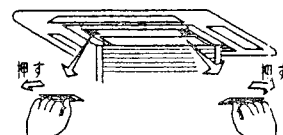
5. 集じん電極の取り付け

- (1) 集じん電極の取っ手側を手に持って電極の先に付いているロッドをチャンバーの電極ロッド用溝に引っ掛けてください。

電極ロッド用溝 (ロッドを引っ掛ける)



- (2) ロッドの先を中心にして取っ手側を持ち上げて両端のラッチを外に押しつけて固定してください。



- (3) 「室内ユニット本体電気部品箱への配線 (1)」の逆の手順でローレットネジ2本を締め、電極落下防止板を固定してください。

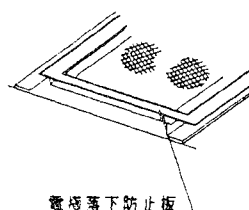
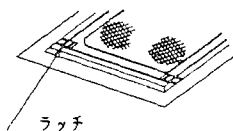
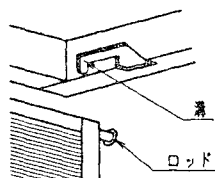
⚠ 警告

集じん電極を取付ける時は以下のことを必ず行なってください。

- ❗ 電極側のロッドは必ず両方とも、本体枠（板金）の溝に引っ掛けること。

❗ 電極のラッチは必ず両方共に外にスライドさせて電極を本体にセットすること。

❗ 電極落下防止板は必ずセットすること。



上記のことを行なわないと集じん電極が落下してけがをすることがあります。

D C ファンタップ* 変更手順

- (1) ユニットが停止しているのを確認してください。
- (2) **セット** + **取外** + **点検** ボタンを、4 秒以上同時に押します。
* 最初に表示される、ユニット No はグループ制御の親機の室内機アドレスです。
この時、選択されている室内機のみ FAN が ON します。
- (3) **ユニット選択** ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内機 No を順次表示します。
* この時、選択されている室内機のみ FAN が ON します。
- (4) 温度設定 **▲** / **▼** ボタンで、項目コード 5 d を指定します。
- (5) タイマー時間 **▲** / **▼** ボタンで、設定データを 0003 に設定します。
* 設定データの内容は下表のようになっています。
- (6) **セット** ボタンを押します。（表示が点灯すれば OK）
● 選択している室内機を変更したい場合は、(3) へ
* ワイヤードリモコンでしか設定できません。
設定を行わない場合、風量減少・露付きの原因となります。
- (7) **点検** ボタンを押しますと通常の停止状態になります。

